

令和2年度 農山漁村振興交付金(地域活性化対策) 事業実施主体 評価一覧

●地域活性化対策

16件

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階						評価	評価コメント
				H30	R1	R2	R3	R4	R5		
中国四国	島根県	大田市	おおだ一日漁ブランド推進協議会	●	●	●■				B	新型コロナウイルスの影響により、当初予定していた「おおだ一日漁」ブランド化フォーラムの開催を取り止め、規模を縮小したイベントやオンライン交流会にて代替することとなり、目標は未達成となった。密になる大型イベント及び越境イベントの開催が難しかったため、オンラインイベント開催についてのノウハウ共有やオウンドメディアでの情報コンテンツの充実を図るなど、コロナ禍でできる対応を取るなど、一定の評価はできる。
中国四国	岡山県	瀬戸内市	玉津地区農山漁村活性化協議会	●	●	●■				C	新型コロナウイルス感染症の影響により当初の活動計画を大幅に変更することとなった。「玉津の市」やヘルスツーリズムは全て中止の中でも、常設市の設置、瀬戸内市3つの朝市の合同ウェブサイト設立検討、令和3年度に農泊事業を展開したい有志と活動の準備を行った。ドローンを使用した撮影でPR活動を展開しているが、事業実績がC評価のため低調と評価する。
中国四国	岡山県	勝央町	しょうおう農泊推進協議会	●	●	■				A	在阪外国人を主体としたモニター、特に欧米系を中心としたSNS発信に協力的な人を招聘するモニターツアーを実施した。また、招聘者に在阪留学生を含めることで、若者目線で興味深さを感じる農村部の魅力などを調査した。また、モニターツアーの実施：4回(通年で集客できるよう体験のブラッシュアップを行っている)ことから、優良と評価する。
中国四国	広島県	三次市	みわ里山活性化推進協議会	●	●	●■				A	“もうかる農業”を推進するまち(⇒農家の所得向上、担い手の確保を実現)、「しんどい農作業」を「楽しい農業エクササイズ」への転換(⇒農業と観光の融合)、“みわジビエ”ブランドの確立(⇒ペットも人間様も健康寿命延伸!)の3つのポイントをふまえて、集客交流事業、ジビエ産品開発事業の推進体制を確立し、双方の融合による三和町ならではのオリジナリティ高い観光地域づくりの取組を推進し、交流人口の創出・拡大、地域経済の向上を図っていることから、優良と評価する。
中国四国	徳島県	美波町	徳島美波地域活性化協議会	●	●	●■				A	本交付金の最終年度となるため、次年度以降の自立化に向けてソフト面を強化し、モデルツアーの実施や積極的な情報発信による地域のファンづくりと顧客開拓に取り組んだ。地域の若者をインストラクタースタッフとして活用するなど、地域の雇用を創出することとしていることから、優良と評価する。

令和2年度 農山漁村振興交付金(地域活性化対策) 事業実施主体 評価一覧

●地域活性化対策

16件

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階						評価	評価コメント
				H30	R1	R2	R3	R4	R5		
中国四国	愛媛県	松山市	まつやまシーサイド・ワーク推進協議会	●	●	●■				A	令和2年度は、新型コロナウイルス感染防止のため、滞在型アルバイトの受入目標40名に対し、10名の確保にとどまったが、地元農家の要望に応じて人員を調整して満足に配置することができた。就農体験ツアーをWEBで実施した。参加者11名に柑橘新品種、儲かる柑橘農業の説明、移住就農経験者の話などを行い、参加者から高評価を受けていることから、優良と評価する。
中国四国	鳥取県	伯耆町	大山日光山麓林野ワイズユース協議会		●	●	○□			C	大山地域で、山里観光以外で、遊休林野の利活用についての可能性を探り、広域的かつ最小限の労力で林野域のワイズユースを進めるための地域ルートづくりなどを進めているものの、イベント開催経費が中心であり、事業の継続性についての検討が十分なされていない。 また、事務局機能についても1人の担当者のみで実施しており、体制が弱い点からも継続実施のための体制強化が必要である。
中国四国	岡山県	矢掛町	みかわてらす協議会		●	●	○□			A	令和元年度に開発したWEBサイトの周知を令和2年度に行う予定であったが、コロナ禍で周囲の状況が変わってしまったため、WEBサイトに新たな機能を追加をすることとした。そのため、住民への周知期間が短くなった。また、コロナ禍により大人数を集めての説明会の開催が難しく、大規模な運用テストの実施が難しかったため、地域住民数名に絞り実施し、「暮らし便利アプリを活用したサービス満足度」(※実際はアプリではなくサイト)については達成した。周知期間が短かったことから、運用テストについては、野菜販売は行わず、お弁当や日用品の配達のみとしたため、「アプリ使用みかわてらす会員販売」については未達成となった。 評価指標の一つである「みかわてらすSNS記事投稿回数」は未達成となったが、目標ともう一方の評価指標は達成した。
中国四国	岡山県	吉備中央町	吉備中央町観光協会		●		□			C	初年度に復職プログラム(新しいリワークプログラム)に関する仮説に基づき実施・展開可能なプログラムを企画・設定/構築したが、新型コロナウイルス感染症の影響により農家民宿の受入がストップしたため、モニターツアーなどの実施には至らなかった。 WEBによる観光商談会などでは興味を持たれる企業もおられ、復職プログラムに関する内容を掲載した啓発パンフレット(観光素材集)を作成し、郵送などにより配布し、啓発を行った。

令和2年度 農山漁村振興交付金(地域活性化対策) 事業実施主体 評価一覧

●地域活性化対策

16件

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階						評価	評価コメント
				H30	R1	R2	R3	R4	R5		
中国四国	愛媛県	東温市	奥松瀬川地区農村活性化協議会		●	●	○□			A	柚子の試験栽培(植栽予定800本→1250本)、ぶどうの試験栽培(植栽予定50→55本)、蔓人参の試験栽培(種まき、試験栽培、1年物の収穫、先進地へ視察)、森のようちえん(自然体験教室、自治区や教育機関との連携)を実施していることから、優良と評価する。
中国四国	愛媛県	伊方町	佐田岬海のブランド産品推進協議会		●	●	○□			B	佐田岬の海産物のブランド化に向けた商品開発、メニュー開発をプロのデザイナー、料理人、ファンドレイザーと協働しファンづくりを実施していることから、良好と評価する。
中国四国	高知県	本山町	本山町みらい創造協議会		●	●	○□			A	農業者等後継者の人数は目標の3人に対して2人となったが、概ね、計画どおり進んでいる。また、移住者の人数においては、目標の15人を超えて19人。おむすび店舗開設についても、1店舗を開設するに至り、順調に進んでいると思われる。
中国四国	高知県	四万十町	四万十町スマート定住対策協議会		●	●	○□			A	本年度は、昨年度策定した「地域の活動計画」にもとづき、町内で移動販売を実施している事業者と協同し、「町民データベース」を構築する実証活動を展開した。データベースを活用して、買い物弱者を中心とする高齢者に対するサービスを拡充させるための情報収集・分析活動を実施した。また、「アグリ特区」「ドローン特区」といった四万十町における中長期的なICT利活用の枠組みを検討した。
中国四国	岡山県	真庭市	蒜山SDGs農村ツーリズム協議会			●	○	○□		A	アイデアソンを実施し都市部の人のアイデアを取り入れながら地域住民と交流を図った。この事業を通して飲食・宿泊事業者、農業者など、地域資源を活用したビジネスを興そうとする事業者をサポートし、外部の人と地域の人が協力する関係性の構築や新たな人の流れが作られることで、新たな事業が起き、地域資源を活用した持続可能な仕組みが構築されることから、優良と評価する。
中国四国	広島県	大崎上島町	大崎上島町地域活性化協議会			●	○	○□		B	大崎上島町の地域活性化計画を策定することはできた。実証事業の3事業の達成率は新型コロナウイルスの影響で交流事業、WSの講師派遣がままならず予算執行率は50%弱となった。

令和2年度 農山漁村振興交付金(地域活性化対策) 事業実施主体 評価一覧

●地域活性化対策

16件

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階						評価	評価コメント
				H30	R1	R2	R3	R4	R5		
中国四国	高知県	北川村	北川村地域活性化協議会			●	○	○□		B	関係人口創出の取組では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けたことにより目標人数を下回ったが、アイデアソンの取組をオンラインで実施し地域の魅力を発信するなどしながら、その後の関係人口の創出につなげることができた。また、HPへのアクセス数については、目標値を大きく上回る実績となり、本村の地域活性化の取組を全国に発信することができたと捉えている。今後は、取組のさらなる発展を目指し、目標値を設定しながら地域活性化に向けた取組を推進していく。

(注1) 「事業実施段階」の凡例: ○●交付対象年度(計画) ●●交付対象年度(実施済) □●目標年度(計画) ■●目標年度(実施済)

(注2) 「評価」の区分: A●優良 B●良好 C●低調

【令和2年度農山漁村振興交付金(地域活性化対策)の評価概要】

地域活性化対策

- ・令和2年度の事業評価では、平成30年度採択6団体及び令和元年度7団体、令和2年度採択3団体の合計16団体を評価した。
- ・事業評価の結果、実施計画に基づく取組が概ね実施され、成果も十分上がっていると認められる総合評価「A」が10団体で、取組がある程度実施され、成果もある程度上がっていると認められる総合評価「B」が3団体。
- 取組状況、事業実績、実施体制のいずれかが低調であると認められる総合評価「C」が3団体。
- ・本交付金によって地域の活性化に向けて一定の成果が出ていると認められる一方で、目標の達成状況が低調な団体に対しては重点的な指導、助言等を行う必要がある。
- ・特にC評価となった3団体については、地域の活性化を継続的に実施できるような事業体制の整備や目標達成に向けた活動の検討を引き続き行う必要がある。

【令和3年度評価委員会の議事概要】

- 1 日時:令和3年9月17日(金)13:30~15:30
- 2 場所:中国四国農政局会議室(10階)
- 3 概要:令和3年度評価対象団体の評価について
令和2年度都市農村共生・対流及び地域活性化対策を実施した16団体について、評価案等に関して、了解を得た。
- 4 主な意見:
 - ・明らかにコロナの影響を受けているものについては他の対策同様に実績評価を行わないことも妥当である。
 - ・コロナの影響でC評価を受けている団体がある一方でA評価の団体もある。C評価を重点指導するのも必要だが、コロナがしばらく続く可能性がある中ではA評価となった取組を他地区に紹介することも重要。